

健康増進課健康増進係

1 難病対策事業

(1) 特定医療費(指定難病) 医療費助成制度

平成 26 年 5 月 23 日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成 27 年 1 月 1 日から、特定医療費(指定難病) 医療費助成制度が始まりました。平成 29 年 4 月 1 日より対象疾患は 330 疾患に拡大されました。(受給者証所持者数については、P25、P26 掲載)

※スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎、重症急性膵炎、プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)の 4 疾患については、特定疾患治療研究事業として医療費助成が行われます。なお、「難治性肝炎のうち劇症肝炎」「重症急性膵炎」については、平成 26 年 3 月 31 日までに受給者として認定された方が対象です。

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病相談・講演会等

○難病相談・講演会

難病患者等へ専門講師から適切な指導を行うことにより、難病患者の療養上の不安の解消及び効果的な療養生活支援を行っています。また、同じ病気を抱えている患者や家族が互いに経験や知識を交換し、学びあい、交流することで QOL を高める事を目的に患者・家族交流会を開催しています。

	月 日	内 容	参加者数
1	平成 29 年 6 月 29 日	個別相談(継続手続き 申請時)	計 692 人
2	平成 29 年 6 月 30 日	個別相談(継続手続き 申請時)	
3	平成 29 年 7 月 3 日	個別相談(継続手続き 申請時)	
4	平成 29 年 7 月 4 日	個別相談(継続手続き 申請時)	
5	平成 30 年 1 月 31 日	神経難病患者講演会・交流会 ・医師による講演会 ・患者、家族間の交流会	17 人

○難病相談従事者研修会

難病患者の在宅療養支援に関する専門的知識とスキルの向上を図るために、介護職等に対して研修会を開催しています。

	月 日	内 容	参加者数
1	平成 29 年 11 月 22 日	講演会及び演習 難病患者の摂食嚥下支援、口腔ケア	76 人

イ 難病ホットラインの設置

専用の相談電話により、患者・家族からの病気、福祉制度、経済面、日常生活などに関する相談に応じ、悩みや不安の解消・軽減を図ることに努めています。

平成 29 年度の電話相談件数は 989 件でした。

ウ 難病患者家庭訪問

在宅療養中の難病患者に対し、健康面及び保健・医療・福祉に関する相談援助を行い、患者及び家族のQOLの向上を図ることとしています。筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症等の神経難病を中心に述べ45件の訪問を行いました。

日常生活の場に出向くことにより療養状況を把握し、調整が必要な場合には訪問看護師、ケアマネージャー等関係者への早めの連絡や介護保険の申請や在宅ケアの情報提供などを行っています。また、平成20年度から、神経難病の方を中心に、家庭訪問による新規医療受給者証交付を実施しています。

エ 難病対策実務者会議

地域の難病患者の医療・介護・雇用に関する関係者が、地域支援体制の課題及び解決策について検討し、難病患者の地域生活環境向上を図ることを目的に、難病対策実務者会議を2回実施しました。検討した内容等は在宅医療推進協議会（糸島難病対策地域協議会）で報告しました。

月 日	内 容	参加者数
平成29年 5月24日	<ul style="list-style-type: none"> 難病患者の災害対策（難病患者向け災害時対策リーフレット作成） 難病患者の就労支援（啓発リーフレットの活用） 意見交換（災害対策、就労支援） 	14人
平成30年 2月1日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の取組（HP掲載、対象者周知、関係機関配布） 事例報告（在宅人工呼吸器使用者の災害対策） 難病患者の就労支援（相談支援体制） 意見交換（災害対策、就労支援） 	13人

オ 在宅人工呼吸器使用難病患者の災害等対策等

在宅人工呼吸器使用難病患者に対して停電等災害に備えた緊急連絡先、必要物品等を訪問看護ステーションを通して確認するとともに、地震・台風の際の注意喚起や安否確認しています。

また、緊急搬送が想定される方には、患者・家族の意思を確認し、患者情報を事前に管内消防本部へ情報提供し、支援体制を整備しています。

(3) 小児慢性特定疾病事業

ア 医療費助成制度

平成26年5月30日に「児童福祉法の一部を改正する法律」が改正され、平成27年1月1日から施行されました。平成29年4月1日の改正で、対象疾病が14疾患群722疾病に拡大されました。

小児慢性特定疾病医療費受給者証所持者数（計87人） 平成30年3月31日現在

区分	(人)	区分	(人)	区分	(人)
01 悪性新生物	9	06 膠原病	5	11 神経・筋疾患	10
02 慢性腎疾患	8	07 糖尿病	8	12 慢性消化器疾患	4
03 慢性呼吸器疾患	3	08 先天性代謝異常	1	13 染色体又は遺伝子 に変化を伴う症候群	0
04 慢性心疾患	8	09 血液疾患	2		
05 内分泌疾患	29	10 免疫疾患	0	14 皮膚疾患	0

イ 福岡県小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業

在宅で療養中の小児慢性特定疾病児童等が、在宅での療養が困難になった場合に、一時的に医療機関に入院できるよう支援する事業が平成30年1月より始まりました。平成29年度の申請は1件でした。

(4) 小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業

日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上、養育している親等の不安や悩みの軽減を図るために、福岡ブロックとして実施しています。

月 日	内 容	参加者数
平成29年10月3日	講演会及び交流会 「I型糖尿病のある人生」 ～糖尿病の子どもの日常生活での注意と食事の工夫～ 交流会 「糖尿病の子どもの親のつどい」	保護者6人 関係者3人

2 栄養改善事業

(1) 健康増進法に基づく業務

ア 栄養指導

地域住民の栄養状態の改善及び食生活等生活習慣改善の促進を図るため、個別・集団を対象に栄養指導等を実施し、栄養表示基準をはじめとした食品表示や生活習慣病予防等の指導を行っています。

栄養・運動指導件数 平成29年度

区 分	個別指導延人員				
	栄 養 食 事	食 品 表 示	健 康 増 進	その他	合 計
	23	51	6	100	180

区 分	集団指導延人員				
	栄 養 食 事	食 品 表 示	健 康 増 進	その他	合 計
	266	607	482	0	1,355

イ 特定給食施設指導

特定給食施設及びその他の給食施設、また栄養士のいない施設に対し巡回指導、書面指導及び研修会等を実施しています。

(ア) 給食施設指導実施状況

平成29年度

区 分	特定給食施設		その他の 給食施設	合 計
	1回100食以上又は 1日250食以上	1回300食以上又 は1日750食以上		
巡回指導延施設数	11	6	15	32
書面指導延施設数	17	2	8	27

(イ) 給食施設従業者研修会

- ① テーマ：「地域で支える高齢者の栄養ケアサポートの実際」

日 時：平成30年2月6日

参加者：13人（病院6人、社会福祉施設2人、老人福祉施設5人）

- ② テーマ：「楽しく食べる子どもに

～新保育所保育指針をふまえた保育所等における食育のとりくみ～

日 時：平成30年3月12日

参加者：21人（児童福祉施設21人）

(ウ) 栄養報告書の受理及び実態調査

届け出のある全給食施設（特定給食施設・その他の給食施設）74施設から7月分と2月分の栄養報告書を受理、また2月は併せて実態調査を実施しています。

(2) 栄養士関係業務

栄養士法に基づき、管理栄養士養成施設学生の保健所における公衆栄養学の臨地実習の指導、管内勤務の栄養士に対し栄養指導や栄養管理が効果的に実施できるよう支援しています。

- ア 公衆栄養学臨地実習 中村学園大学学生 7人
- イ 管内栄養士研究会 開催回数：年5回（述べ131人参加）

(3) 調理師関係業務

調理師法に基づき調理師試験・免許事務及び調理業務に従事する調理師の資質向上のため、研修会開催等を行っています。

- ア 調理師免許 交付数 35件（新規 23件、書換 2件、再交付 7件、書換・再交付 3件）
- イ 調理師試験 願書配付数 53件
- ウ 調理師研修会

○平成29年10月5日 参加者35人

講演①「高齢者に配慮した食事の工夫～心の味付けで安全においしく～」

講演②「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」

(4) 食生活改善推進事業

食生活改善や健康づくり関連事業を効果的に実施するため、食生活改善推進員リーダーの再教育を行っています。

食と健康教室 2回（参加者77人）

(5) 食環境整備

飲食店や弁当店においてヘルシーな食事の提供を行なう「食の健康サポート店」を募集・登録し、外食利用者が個々人の状況に合った食事を選択できるよう食環境の整備を図っています。

○食の健康サポート店 14店舗

3 健康増進事業

(1) 健康たばこ対策事業

喫煙は、多くの生活習慣病の危険因子であることから未成年者の喫煙防止や、分煙、禁煙支援を推進しています。

ア 禁煙宣言登録施設数 糸島市役所ほか 104施設（新規2件）

イ 未成年者の喫煙防止対策事業

講話「喫煙と健康について～たばこの害、受動喫煙について」

平成29年10月2日 対象者：保健所実習生 7人

ウ 卒煙サポート事業

出前講座「喫煙の健康への影響、禁煙のコツ、卒煙サポート薬局の紹介」を実施

平成29年9月8日 対象者：事業所の管理者及び従業員34人

平成29年10月6日 対象者：病院職員40人

(2) 地域・職域連携会議

地域と職域が連携して働く世代からの健康づくり対策を継続的・効果的に実践するために、糸島市・医師会・商工会・労働基準監督署・農業協同組合・漁業協同組合等が一堂に会して情報の共有や取り組みについて協議を行いました。

月 日	内 容	出席者
平成30年 1月18日	話題提供 (1) 最近の国の健康づくりをめぐる動向 (2) 「アドバイザー派遣事業を活用した職場の健康づくり」 (3) 「働く世代の初めての運動教室事業」 (4) 「職域における健康づくり対策について」 協議「地域と職域が協働で取り組む働く世代の健康づくりについて」	17人

(3)生活習慣病重症化予防対策事業

重症化予防に取り組む市に対し、効果的な受診勧奨や保健指導、栄養指導などの取組が行えるよう、地元医師会や関係医療機関との連携や調整を図り取組みの推進を行いました。また、管内の介護保険事業者、訪問看護事業者等に対し、高齢者の糖尿病対策の推進を図るために、研修会を実施しました。

○糖尿病連携実務者会議 年4回

構成メンバー（機関）：医師会、医師会病院、歯科医師会、薬剤師会、糸島市、当所
 内容：糖尿病連携の課題と連携会議の進め方、連絡票や指導媒体を活用した事業評価、特定健診データを活用し重症化する者の事例検討及び課題抽出、糖尿病及び腎疾患の適正管理や重症化予防に向けた連携体制の検討

○糖尿病及び合併症予防のための研修会

月 日	内 容	参加人数
平成30年 3月29日	講話及び意見交換 「糖尿病を正しく理解するために ～糖尿病療養指導のポイント～」	29人

(4)県民健康づくり支援事業

県民一人一人が長生きしてよかったと実感できる社会を目指し、個人の健康づくりを支えるための支援を実施しています。

ア 自主的健康づくりに取り組むきっかけづくりの提供

福岡県健康ポータルサイト・血管年齢測定・体組成計を利用した生活習慣改善の情報提供
 回 数：7回

場 所：浜の園団地集会場、いとゴン食堂、伊都文化会館、糸島環境開発、加布里公民館
 東風校区こども食堂、姫島小学校

参加者：393人

イ 中小事業所の健康づくりに対する支援

○経営者に対する啓発

内 容：講義「健康づくりの必要性について」

回 数：1回

参加者：97人

(5)地域における健康づくり活動支援事業

市の健康づくりイベント等において、委託事業所による健康測定機器を活用した住民の自主的な健康づくりのきっかけづくり事業の実施支援を行いました。

4 歯科保健事業

平成23年8月に「歯科口腔保健推進に関する法律」が成立し、平成25年には、福岡県歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき、福岡県歯科口腔保健支援センター（平成26年4月）が設置され、総合的に歯科口腔保健の推進を図っています。

(1)母と子（親と子）のよい歯のコンクール

母子歯科保健向上を図ることを目的に、3歳児歯科健康診査を受診した幼児とその親を対象に歯科健診を実施し、親子ともに口腔保健状態が特に優れている人を表彰しました。

月 日	場 所	検診実施者	表彰者数
平成29年6月3日	伊都文化会館	4人	3人

(2) 特殊歯科保健医療推進事業

歯科保健サービスを受けることが困難な心身障がい児（者）等を対象とし、歯科医師会等との連携のもと、歯科健診・保健指導を行いました。

月 日	対 象	受診者数	歯科治療機関への紹介人数
平成 30 年 1 月 23 日	障がい者福祉サービス事業所 合同会社ゆめいろ舎	10 人	9 人

(3) 地域保健関係者職員研修（歯科保健）

管内の歯科保健を推進する体制の基盤整備のために、地域歯科保健事業関係者の資質向上を目的とした歯科保健研修を行いました。

月 日	内 容	対象者	参加者
平成 29 年 11 月 22 日	講演 「神経難病患者の摂食・嚥下支援について」 演習 「難病患者の口腔ケアの実際について」	介護及び、看護職員、 地域包括支援センターケア マネジャー等	73 人

(4) 歯周疾患予防推進事業

成人期における歯周疾患の予防や定期健診受診率向上を図るため、事業所の従業員に対し、歯周病予防に関する研修会を実施しました。

月 日	対象者	内 容	参加者数
平成 29 年 11 月 10 日	事業所管理者及び 従業員	講義 「歯周病予防について」 「お口の健康づくり」	34 人
平成 29 年 12 月 5 日			15 人

(5) 口腔ケア定着促進事業

要介護高齢者の肺炎予防や生活の質の向上を図るため、介護老人保健施設等の関係職員に対し、研修会を実施しました。

月 日	内 容	参加者数
平成 29 年 12 月 20 日	講話及び演習 「高齢者の口腔ケアの重要性」「口腔ケアの実際」	10 人

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳等交付申請、諸手当支給認定申請一般疾病医療機関指定申請、年 2 回の定期健康診断等に関する事務を保健所で実施し、被爆者健康診断は平成 13 年度から医療機関に委託して実施しています。

なお、平成 14 年 4 月から健康診断特例区域（第 2 種）が施行されたことにより、健康診断受診者証の交付が増加しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

【交付件数】

平成 30 年 3 月 31 日現在

健康手帳	健康診断受診者証(第 1 種)	健康診断受診者証(第 2 種)	計
127	1	8	136

(2) 各種手当支給状況

【受給者数】

平成30年3月31日現在

医療特別手当	特別手当	健康管理手当	保健手当 (一般)	保健手当 増額	小計	介護手当	葬祭料
2	2	105	3	1	113	0	6

(3) 定期健康診断

【実施件数】

(平成29年度)

区分	件数	区分	件数	区分	件数
一般検査	53	喀痰	3	大腸がん	15
肝機能検査	51	乳がん	2	骨髄腫	12
ヘモグロビンA1C	51	子宮がん	1	精密検査	1
胃がん	6	子宮がん体部	1		
肺がん	17	子宮がんコルポ	0		

6 母子保健

(1) マス・スクリーニング事業（先天性代謝異常等検査）

先天性代謝異常症等の早期発見及び早期治療を目的に医療機関で検査を実施した結果、要精密児の連絡を受けて、適切な医療継続や育児不安への支援を行っています。

平成29年度2件。

(2) 乳幼児発達診査事業・こどものことば相談

心身の正常な発達に関して諸問題を有している児や、乳幼児健診及び家庭訪問等で精神運動発達面及び言語発達面において障害を残すおそれのある乳幼児に対して、市や医療機関との連携のもとに実施しています。

(平成29年度)

内 容		こどものことば相談
回 数		15回
受診数(延)		実人員66人(77人)
受 診 結 果	問 題 な し	5人
	経 過 観 察	27人
	医 療 機 関 紹 介	21人
	他 機 関 紹 介	13人

(3) 慢性疾病児童等療育相談支援事業

ア 研修会

障がい状況に応じて適切な生活指導及び精神的支援を行うために研修会を実施しました。

月 日	内 容	対象者	参加者数
平成30年 2月27日	講話 「慢性心疾患をもつ子どもの理解と支援について」	糸島市役所職員 幼稚園・保育所職員 子育て支援関係者 小中学校教員	27人

イ 療育相談指導

小児慢性特定疾病継続申請時に相談会を実施しています。

月 日	内 容	対象者	参加者数
平成29年 11月29日	個別相談会	小児慢性特定疾病児 童等の保護者	3人

(4)ハイリスク妊産婦支援事業

産後うつ病予防を含めた育児等の不安を軽減することで、良好な母子関係の形成を促し児童虐待を未然に防止するため、育児支援者に対して資質向上を図るための研修会を開催しました。

月 日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 3 月 5 日	講話 「心が楽になるストレスマネジメント」 ～ 強みを生かした前向きに生きよう ～	一般市民 糸島市役所職員 幼稚園・保育所職員 子育て支援関係者等	16名

(5)生涯を通じた女性の健康支援事業

女性はそのライフステージにおいて、妊娠や出産等女性特有の様々な心身にわたる悩みを抱えています。そこで、電話相談や面接による相談を実施しています。

(6)不妊治療等支援事業

不妊に悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図るため、不妊治療費助成及び相談を実施しています。平成 29 年度の不妊治療費申請 65 件でした。

(7)市町村支援

糸島市要保護児童ネットワーク会議及び各専門部会

要保護児童もしくは要支援児童及びその家族又は特定妊婦に関する情報交換並びに要保護児童に対する支援に係る専門部会、乳幼児部会、発達支援部会、すこやか部会に参加し、支援に対する助言や同伴訪問を実施しています。

7 肝炎対策

(1)相談・検査事業

ア B型肝及びC型肝炎ウイルスへの感染者を早期に発見し、早期治療により慢性肝炎・肝硬変肝がんなどの発生を予防する事を目的として「肝炎相談・検査事業」を行っています。

医療機関での無料検査 (平成 19 年 10 月開始)

対象者：20 歳以上の方で、県と委託する検査実施医療機関において検査が必要と認められた者
イ 保健所での検査・相談

従来のC型肝炎検査相談に加え、平成 19 年 11 月よりB型肝炎検査を加え、検査・相談を行っています。

相談・検査件数 (保健所分)

肝炎ウイルス相談		H29 年度 (件)	
		501	
肝炎ウイルス検査	B 型肝炎	18	
	C 型肝炎	18	
	計 (検査)	36	

(2)肝炎治療特別促進事業

早期治療を推進するため、平成 20 年 4 月から B 型・C 型肝炎ウイルス除去を目的とするインターフェロン治療に対して、医療費の一部助成をおこなっています。平成 22 年 4 月からは核酸アナログ製剤治療も助成の対象となり、また平成 26 年 4 月からはインターフェロンフリー治療を助成対象に追加するなど、より利用しやすい制度となっています。

平成 30 年 3 月 31 日現在

申請数	インターフェロン	インターフェロンフリー	核酸アナログ製剤	
			新規	更新
	0 件	36 件	11 件	96 件

(3)福岡県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

B型・C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんの療養者に対し、精密検査又は定期検査の費用を助成することにより、早期治療や定期的な医療機関の受診につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図っています。

(平成 29 年度)

申請数	初回精密検査受診	初回精密検査費用請求	定期検査受診	定期検査費用請求
	0 件	0 件	2 件	2 件

8 在宅医療推進事業

誰もが望む場所で安心して療養生活を送ることを目的に、市民への普及啓発、医療・福祉・行政等の関係機関の相互の連携を強化し、在宅医療体制の推進を図っています。

(1) 相談状況

(平成 29 年度)

	相談実数 (人)	相談延件数 (人)	(相談手段 内訳)		
			電話	訪問	面接
が ん	0	0	0	0	0
難 病	13	209	141	45	23
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	13	209	141	45	23

(2) 調査結果、統計資料について

ア 調査結果

在宅医療に係る実態を把握し、課題等を検討、対策に繋げることを目的に下記調査を実施しました。調査結果は、会議・研修会等で報告し、内容に反映させました。

○ 地域包括支援センターにおける在宅医療の取組状況調査（ヒアリング調査）

地域包括支援センター 5カ所に対して、在宅医療に関する相談対応、医療や多職種との連携について現状把握を把握し、課題を抽出することで今後の対応策を検討。

○ 在宅看取りを経験された家族への聞き取り調査（ヒアリング調査）

在宅で看取られたご家族に対して、在宅を選択するまでの経緯や介護の実際、要望事項などを把握し、課題を抽出することで今後の対応策を検討

イ 在宅看取り率について(単位：人)

		総数	病院	診療所	その他	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	在宅看取り率	再掲)施設看取り率
全国	H27	1,290,444	962,597	25,482	27,585	29,127	81,680	163,973	21.3%	8.6%
福岡県	H23	48,112	40,415	981	933	464	1,115	4,204	12.0%	3.3%
	H24	48,957	40,944	942	938	485	1,278	4,370	12.5%	3.6%
	H25	49,456	40,912	855	972	641	1,598	4,478	13.6%	4.5%
	H26	49,317	40,557	870	889	594	1,771	4,636	14.2%	4.8%
	H27	50,259	41,236	805	930	723	2,040	4,525	14.5%	5.5%
糸島市	H23	906	762	56	7	8	10	63	8.9%	2.0%
	H24	921	761	64	16	9	7	64	8.7%	1.7%
	H25	918	752	52	23	6	15	70	9.9%	2.3%
	H26	907	715	49	12	19	25	87	14.4%	4.9%
	H27	973	771	68	8	26	23	77	12.9%	5.0%

(人口動態統計資料より)

(3) 会議・協議会について

在宅医療及び地域包括ケア推進に係る連携協定に関する事項について、各団体の事業展開を検討及び共有することを目的に関係団体と定期的に会議を実施しています。また、糸島地域在宅医療推進協議会を開催し、糸島地域の在宅医療の評価、来年度の計画等について協議しています。

会議名（回数）	出席者	内容
在宅医療推進に係る打ち合わせ会議（計7回）	糸島医師会メディカルカフェ、糸島歯科医師会歯科口腔保健センター、糸島薬剤師会、糸島市介護・高齢者支援課、当所	市、医師会、歯科医師会、保健所の実務者で在宅医療に係る各機関の事業の共有、企画の検討打ち合わせを行った。
市・保健福祉事務所定例会議（計4回）	糸島市介護・高齢者支援課、糸島市健康づくり課、当所	市、保健福祉環境事務所で「地域包括ケアの推進に関する連携協定」、在宅医療推進に係る事項について打ち合わせを行った。
地域包括ケアの推進に関する連携協定連絡会議（計2回）	糸島医師会、糸島歯科医師会、糸島薬剤師会、糸島市、当所	「地域包括ケアの推進に関する連携協定」に係る各機関の取組み内容等について共有・検討をした。
糸島地域在宅医療推進協議会（1回）	糸島医師会、糸島歯科医師会、糸島薬剤師会、医療機関、訪問看護事業所、社会福祉協議会、区長会、民生委員協議会、介護事業者連絡会、糸島市、当所	在宅医療推進事の取組状況、事業評価、次度の事業計画（案）等について協議した。

(4) 在宅医療従事者研修について

医師会等関係機関の協力のもと、在宅医療に係る多職種を対象に、多職種連携スキル、施設看取り、歯科口腔・栄養支援等、在宅医療推進に関する資質向上、連携体制強化を目的に実施しました。

ア 保健所主催研修

	日時	内容	参加者数
1	平成29年 11月15日 糸島医師会	第1回在宅医療推進事業スキルアップ研修「施設看取り研修」 ○講演 「高齢者施設における施設看取りの実際について ～施設における体制づくりと実際の看取り経験をとおして～」 ○情報交換会	54人 (介護高齢者施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等職員)
2	平成29年 11月22日 糸島市健康福祉センターあごら	第2回在宅医療推進事業スキルアップ研修 「訪問介護等スキルアップ研修」 ○講演 「神経難病患者の摂食・嚥下支援について」 ○演習 「難病患者の口腔ケアの実際について」	76人 (ヘルパー、訪問看護ステーション看護師、介護支援専門員等)

3	平成 30 年 2 月 21 日 糸島医師会	訪問看護ステーションスキルアップ研修会 ○講話 「在宅医療における訪問看護ステーションの役割」 ○講話 「訪問看護ステーション間の連携のポイント」 ○報告 「医療依存度の高い神経難病患者の災害時対応について」 ○情報交換会	22 人 (訪問看護ステーション看護師・理学療法士等)
---	------------------------------	--	--------------------------------

イ 他の関係機関との共催研修

	日 時	内 容	参加者数
1	平成 29 年 4 月 22 日 糸島医師会 ※医師会等と共催	在宅栄養研修会 ○講演 「地域の食支援力をアップする研修」	90 人 (歯科、栄養、介護関係者等)
2	平成 30 年 2 月 17 日 糸島医師会 ※医師会等と共催	糸島地区在宅医療多職種連携研修会 「チームアプローチが分かる事例検討会 -在宅での多職種連携 がんの終末期をチームで支える-」 ○事例検討 ・同職種グループワーク ・同じエリアの多職種グループワーク	83 人 (医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等)

(5) 住民啓発について

住民が「医療依存度が高くても最後まで希望する場所で療養できる。在宅医療を選択肢の一つとして考えられる。」ことを目的に、関係団体と協働して住民啓発を実施しました。出前講座では、糸島地域の相談窓口チラシや在宅医療に関するパンフレット等を配布し、啓発しました。

ア 講演会

	日時・場所	内 容	参加者数
1	平成 29 年 10 月 28 日 海徳寺	在宅ホスピスを語る会 in 糸島 2016 ○体験発表 在宅介護・看取りを経験されたご家族より ○グループワーク ○写真展	37 人 ※NPO 法人ふくおか在宅ホスピスをすすめる会等と共催
2	平成 29 年 11 月 4 日 伊都文化会館 多目的ホール	認知症市民公開講座「認知症とくらしのフォーラム」 ○講演 「わしはわしでええんよの～」(当事者の講演) ○パネルディスカッション ○寸劇、個別相談会、展示ブース等	200 人 ※医師会等と共催
3	平成 30 年 2 月 17 日 糸島健康福祉センターあごら	いとしま在宅ホスピスボランティアの会「ヴィオラ」公開講座 ○講演 「今、知っておこう、選択肢のひとつ 在宅ホスピス “介護と上手に付き合う極意”」 ○グループワーク	73 人 ※いとしま在宅ホスピスボランティアの会「ヴィオラ」主催。当所は後援

イ 出前講座

	日時・場所	内 容	参加者
1	平成 29 年 7 月 5 日 伊都文化会館	食中毒予防講習会にて在宅医療に関する啓発 (相談窓口チラシ等配布、説明)	530 人
2	平成 30 年 1 月～3 月 計 15 回	市の校区別健康づくり講座にて、在宅医療に関する啓発 (窓口チラシ等配布、説明)	計 450 人

ウ 在宅ホスピスボランティア講座

在宅療養をサポートするホスピスボランティアの育成及び、在宅医療の啓発を目的に NPO 法人ふくおか在宅ホスピスをすすめる会、糸島医師会病院、いとしま在宅ホスピスボランティアヴィオラとの共催で実施しました。

受講者にはいとしま在宅ホスピスボランティアヴィオラを案内し、ホスピスボランティアの活動に繋がっています。

開催日時	平成 29 年 11 月 18 日、12 月 16 日 平成 30 年 1 月 13 日、1 月 27 日 計 4 日間
内 容	在宅ホスピスの実際、コミュニケーション、患者・家族支援 等

(6) 社会資源情報の提供

平成 27 年度に関係団体と作成した管内の在宅医療・介護に係る社会資源のマップ、名簿の更新を毎年実施しています。

(「糸島市在宅医療と介護のマップとガイド」 <http://www.itoshima-med.or.jp/original9.html>)

【特定医療費(指定難病)受給者証所持者数】

平成 30 年 3 月 31 日現在

疾患 番号	疾 患 名	男	女	合計
2	筋萎縮性側索硬化症	7	3	10
3	脊髄性筋萎縮症	0	2	2
4	原発性側索硬化症	1	0	1
5	進行性核上性麻痺	4	5	9
6	パーキンソン病	32	56	88
7	大脳皮質基底核変性症	2	3	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	0	1
11	重症筋無力症	8	11	19
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	8	9	17
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	4	0	4
17	多系統萎縮症	9	8	17
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	8	12	20
19	ライソゾーム病	1	2	3
21	ミトコンドリア病	1	0	1
22	もやもや病	4	15	19
26	HTLV-1 関連脊髄症	2	0	2
28	全身性アミロイドーシス	1	0	1
34	神経線維腫症	0	1	1
35	天疱瘡	3	0	3
37	膿胞性乾癬(汎発性)	2	0	2
40	高安動脈炎(大動脈炎症候群)	0	8	8
41	巨細胞性動脈炎	2	0	2
42	結節性多発動脈炎	2	2	4
43	顕微鏡的多発血管炎	0	1	1
44	多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫症)	0	2	2
46	悪性関節リウマチ(リウマトイド血管炎)	2	0	2
47	バージャー病.(ビュルガー病)	2	0	2
49	全身性エリテマトーデス	2	44	46
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	5	9	14
51	全身性強皮症	2	20	22
52	混合性結合組織病	3	6	9
53	シェーグレン症候群	0	8	8
54	成人スチル病	0	3	3
56	ベーチェット病	3	11	14
57	特発性拡張型心筋症	13	4	17
60	再生不良性貧血	3	4	7
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	6	5	11
65	原発性免疫不全症候群	2	0	2
66	IgA 腎症	1	1	2
67	多発性嚢胞腎	3	4	7
68	黄色靱帯骨化症	3	1	4
69	後縦靱帯骨化症	16	11	27
70	広範脊柱管狭窄症	10	2	12
71	特発性大腿骨頭壊死症	7	3	10
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	0	1

疾患番号	疾患名	男	女	合計
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	1	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	0	1	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0	4	4
78	下垂体前葉機能低下症	4	2	6
80	甲状腺ホルモン不応症	1	0	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	2	2
84	サルコイドーシス	1	6	7
85	特発性間質性肺炎	5	6	11
86	肺動脈性肺高血圧症	2	1	3
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0	1	1
90	網膜色素変性症	3	9	12
92	特発性門脈圧亢進症	2	0	2
93	原発性胆汁性胆管炎	2	21	23
95	自己免疫性肝炎	1	3	4
96	クローン病	29	10	39
97	潰瘍性大腸炎	47	43	90
109	非典型溶血性尿毒症症候群	1	0	1
127	前頭側頭葉変性症	0	1	1
159	色素性乾皮症	0	1	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	1	1	2
174	那須・ハコラ病	0	1	1
207	総動脈幹遺残症	1	0	1
209	完全大血管転位症	0	1	1
210	単心室症	0	1	1
220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	1
222	一次性ネフローゼ症候群	3	2	5
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	1	1
257	肝型糖原病	1	0	1
301	黄斑ジストロフィー	1	0	1
306	好酸球性副鼻腔炎	2	1	3
318	シトリン欠損症	0	1	1
	合計	295	397	692

*うち 14 人が 2 疾患、1 人が 3 疾患